

## 令和2年10月大井町教育委員会定例会 会議録

日 時 令和2年10月13日(火) 13時57分～14時50分  
場 所 大井町役場 3階 301会議室  
出席委員 夏莉一壽教育長、石井孝典教育長職務代理者、  
牧野誠一郎委員、中條政夫委員、小島茂子委員  
出席職員 石井浩二参事兼教育総務課長、大森勉生涯学習課長、  
橋本多恵子学校給食センター所長、山崎良徳社会教育主事  
【書記】山崎好之教育総務課副課長  
傍 聴 人 なし  
会議内容

- 1 開会 夏莉教育長から開会の宣言をする。
- 2 前会議録の承認 令和2年9月定例会の会議録が承認され、石井教育長職務代理者と牧野委員が会議録に署名する。

### 3 教育長の報告

- (1) 教育長の報告 資料により夏莉教育長が説明する。

(要旨)

湘光中学校で開催された湘光祭に参加された教育委員にお礼を述べる。コロナ禍の中において、各幼稚園・学校とも行事を中止したり、また、例年とは異なる形で開催したりして対応をしている状況である。湘光中学校では、文化祭と体育祭をそれぞれの内容を縮小し、2日間の日程で開催した。体育祭では多くの保護者が来られ、関心の高さをうかがわせたが、町の駐車場を利用してしまう保護者の対応に苦慮したことを伝える。

足柄上地区教育長会議では、今年度実施した教科書採択事務についてが主な内容であった。また、教科書採択に関する情報公開の改正についても話題になった。そのほか、足柄上地区教育委員会協議会事業の講演会が今年度は中止することが話された。

市町教育長会議では、令和2年度末の人事に関する内容が主なものであった。県町村教育長会秋の総会が書面会議に変更。全国町村教育長会理事会は11月に延期が報告された。

臨時小中学校長会議では、コミュニティ・スクール実施に向けての対応や学校運営協議会、地域学校協働本部の設置について確認。また、新型コロナウイルス感染症対策の課題について報告する。

最後に、10月1日の辞令交付についての内容が報告される。

(2)各課・センターからの報告

- ①教育総務課関係事業報告 資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。
- ②生涯学習課関係事業報告 資料により大森生涯学習課長が説明する。
- ③学校給食センター関係事業報告 資料により橋本学校給食センター所長が説明する。

(石井教育長職務代理者)

湘光中学校のグラウンドの改修が開始されたが、今後の工事の進捗について教えてほしい。

(山崎教育総務課副課長)

土質調査終了後に、グラウンドの土を搬出。これから、雨水排水の工事を行う。工期的には来年3月までだが、1月末には工事が終了できるような計画でいます。

#### 4 議 事

(1)令和3年度 コミュニティ・スクール導入について

資料により山崎良徳社会教育主事が説明する。

(要旨)

文部科学省は、新学習指導要領のポイントとなる、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、コミュニティ・スクール等、地域学校協働活動の一体的推進による地域と学校の連携協働体制を推進している。令和4年度までにすべての公立学校において推進することとなっており、それを受けて大井町ではコミュニティ・スクールを令和3年度から小中の4校に導入していきたい。

現在、各校で実施している学校評議員制度を軸としながら、コミュニティ・スクールへと移行することを考えている。

(石井教育長職務代理者)

幼稚園・小学校・中学校とありますが、地域学校協働本部はその幼・小・中全体を考えて設置するという事なのですか。又は、幼稚園・学校ごとに担当を置くということなのですか。

(山崎社会教育主事)

大井町では、小・中学校の4校にコミュニティ・スクールを立ち上げ、その中に地域学校協働活動推進委員を配置し、事務局として地域学校協働本部を生涯学習課に置いて、全部の推進員が動きやすいようにコーディネートする体制をとります。また、幼稚園については、コミュニティ・スクールではなくて、まずは小・中学校から進めていき、必要な部分が出てくれば考えていくというスタンスで考えています。

(小島委員)

現在のPTA本部を大きくした形に、学識経験者や地域の方々などが加わって活動す

る組織という認識でよいですか。また、学校運営協議会の役割の一つに、教職員の任用について意見を述べるができるとありますが、先生方の人格であるとか、活動であるとか、指導力なども見られるのですか。

(山崎社会教育主事)

P T A本部を大きくしたというものではなく、今までの学校評議員制度をより広くしたものと考えていただければと思います。又、教職員の任用については、どの程度の意見が述べるができるかなどは、大井町独自の規則を定める中で検討していきたい。

(小島委員)

つまり、教職員が評価されるということではなくて、教職員が働きやすい環境を整えるという解釈でよろしいですか。

(山崎社会教育主事)

その方向で考えています。

(中條委員)

感想ではありますが、コミュニティ・スクールが導入されることで、学校が活性化する、地域も活性化するという目的が達成されれば、とてもよい組織になりうると思います。そのためには、コーディネートする地域学校協働推進委員の力量に負うところも多くなってくるとともに、その人選が難しくなってきます。学校評議員制度を生かしなが立ち上げるといことなのでスムーズな移行はできると思いますが、学校現場のさらなる多忙化を招かないか心配です。

(夏苺教育長)

学校で行っていることを助けてもらえる地域学校協働本部であってほしいと思います。まずはできるところからという範囲で立ち上げていきたい。そうしないと、地域学校協働推進委員の負担が大きくなってしまいます。学校にボランティアとして携わっている方々もいるので、そういう部分も足掛かりにしながら立ち上げていきたい。

(中條委員)

コミュニティ・スクールの組織が、現在各校で行われているボランティア活動のさらなる活性化につながっていくメリットになると思います。

(夏苺教育長)

規則等をまとめていくという課題があるが、改めてこの場で御協議いただきたい。

5 その他

●今後の行事等予定について

資料により石井参事兼教育総務課長から説明する。

資料により大森生涯学習課長から説明する。

6 閉会 夏苺教育長から閉会の宣言をする。